

ノミネートセッション ノミネートセッション

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	10:30～12:00	第2会場 201	N-1	退院前カンファレンスにおける訪問療法士の役割 ～介護支援 専門員へのアンケート調査から～	米澤 秀典
6月7日	10:30～12:00	第2会場 201	N-2	震災後の訪問リハビリテーションの取り組みと重要性	柴田 真行
6月7日	10:30～12:00	第2会場 201	N-3	動眼神経麻痺による眼球機能障害が改善し、QOLが向上した症 例 -眼球機能向上訓練の実施-	松本 拓也
6月7日	10:30～12:00	第2会場 201	N-4	訪問リハ利用者のできるADLとしているADLの差についてー LIFEデータを活用した独自のADL評価表を用いてー	村尾 彰悟
6月7日	10:30～12:00	第2会場 201	N-5	終末期がん療養者の訪問リハビリテーションにおいて理学療法 士・作業療法士が経験した困難に関する質的研究	岩本 記一
6月7日	10:30～12:00	第2会場 201	N-6	18トリソミー児の在宅摂食・嚥下訓練の経過ー「美味しい体 験をしてほしい」家族の想いによりそうー	堀田 真弥

フレッシュャー口述1 脳血管, 高次脳・認知・精神障害

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	14:20~15:20	第4会場 301	F1-1	訪問リハビリにて調理動作訓練を通してQOLの向上を図った一例	吉川 恵都
6月7日	14:20~15:20	第4会場 301	F1-2	インターネット動画がきっかけで、家事動作が可能となった左片麻痺者の一症例	田邊 菜穂
6月7日	14:20~15:20	第4会場 301	F1-3	後頭葉障害患者に対する訪問リハビリの有用性について	樋之口 瑛大
6月7日	14:20~15:20	第4会場 301	F1-4	ボツリヌス治療と訪問リハビリの目標設定により,日常生活で麻痺手の使用が増えた事例	竹村 文

フレッシュャー口述2 運動器, 内部障害, その他, 調査・研究

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	15:30~16:30	第4会場 301	F2-1	訪問看護利用者における複数回転倒の要因検討-当ステーション転倒転落アセスメントツールの活用-	渡部 佳美
6月7日	15:30~16:30	第4会場 301	F2-2	“1人で出かけたかったのに!” ~家族との情報共有から生まれた生活の変化~	武石 真愛
6月7日	15:30~16:30	第4会場 301	F2-3	人となりを尊重し関わる事の大切さ ~主介護者である妻との協働~	玉城 佳穂
6月7日	15:30~16:30	第4会場 301	F2-4	運動量確保と実動作練習を中心に介入し、トイレでの排泄が可能となったがん悪液質を呈した患者の1症例	杉山 壱太

口述 1

脳血管

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	13:10～14:10	第4会場 301	O1-1	非利き手のみでの包丁操作 ～食材は左右どちらから切るべきか～	佐山 貴志
6月7日	13:10～14:10	第4会場 301	O1-2	長下肢装具を用いた立位・歩行練習と家族指導が座位・移乗能力の向上、外出・旅行につながった一症例	吉澤 和真
6月7日	13:10～14:10	第4会場 301	O1-3	屋外歩行時の痙縮、疼痛の増悪に対してボツリヌス療法を行った脳卒中片麻痺の1事例	長谷川 陵
6月7日	13:10～14:10	第4会場 301	O1-4	訪問リハビリテーションの可能性 ～在宅生活で行動変容を生じた事例を経験して～	尾関 健至
6月7日	13:10～14:10	第4会場 301	O1-5	ストラップ作成が役割の再獲得と社会参加を促進した脳卒中者の一例	松田 麻里奈
6月7日	13:10～14:10	第4会場 301	O1-6	脳卒中後遺症の残存する訪問リハビリテーション利用者の屋外歩行に対する障壁の質的解明	小倉 太郎

口述 2

活動報告・運営システム

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	14:20～15:20	第3会場 202	O2-1	地域に根差した訪問リハビリテーション ～中山間地域での展開～	辻 友彦
6月7日	14:20～15:20	第3会場 202	O2-2	地域共生社会の実現に向けた、地域参画企画の事業化に向けた取り組み	井浦 由基
6月7日	14:20～15:20	第3会場 202	O2-3	就労支援の円滑化に向けた就労能力評価シートの作成	佐々木 和彦
6月7日	14:20～15:20	第3会場 202	O2-4	当院通所・訪問リハビリテーション利用者の「働きたい」への支援～障害福祉サービスとの連携事例を通して～	武平 孝子
6月7日	14:20～15:20	第3会場 202	O2-5	訪問看護ステーションにおけるRPAを活用した業務効率化の取り組み	橋本 卓
6月7日	14:20～15:20	第3会場 202	O2-6	訪問リハビリテーション利用者が語る障害受容～講話会開催報告～	古川 郁美

口述 3

運動器、内部障害

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	16:40～17:40	第4会場 301	O3-1	心理的アプローチと連携による自立した外出の再開	安田 史也
6月7日	16:40～17:40	第4会場 301	O3-2	大腸がん術後症例に対する訪問リハの経験～医介連携ネットワークシステムを活用して～	小平 真希子
6月7日	16:40～17:40	第4会場 301	O3-3	寝たきりから始まる挑戦：訪問リハビリで紡ぐ生活機能の再構築	橋本 慈樹
6月7日	16:40～17:40	第4会場 301	O3-4	訪問型サービスCでの関わりにより運動機能の改善と活動性の向上につながった一症例	酒井 祥平
6月7日	16:40～17:40	第4会場 301	O3-5	訪問心臓リハビリテーションの介入によって自宅生活が改善したS-ICD植え込み後の一症例	坂下 浄
6月7日	16:40～17:40	第4会場 301	O3-6	間質性肺炎増悪後の訪問リハビリテーションの自己管理教育により役割が再獲得できた事例	奥間 健太郎

口述 4

難病・終末期

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	10:10～11:10	第4会場 301	O4-1	ALSの長期在宅ケア・リハビリテーションフォローの経験～本人の意向・希望を尊重し続けるために～	岡本 陽介
6月8日	10:10～11:10	第4会場 301	O4-2	筋萎縮性側索硬化症を呈した利用者のICT活用～タブレット・LINEを使用しての年賀状のやりとり～	市橋 慶二
6月8日	10:10～11:10	第4会場 301	O4-3	～カラオケ教室への参加を目指して～パーキンソン病利用者に対する訪問リハビリテーションの一症例	島本 周治
6月8日	10:10～11:10	第4会場 301	O4-4	多系統萎縮症を呈した症例への訪問リハビリテーションー妻の外出したい気持ちに寄り添った関わりー	小野 晃平
6月8日	10:10～11:10	第4会場 301	O4-5	COVID-19発症後に誤嚥性肺炎により胃瘻で自宅退院したパーキンソン病利用者への関わり～食事再獲得に向けて～	高田 乃莉子
6月8日	10:10～11:10	第4会場 301	O4-6	最期まで在宅療養を支える理学療法士の関わり～希望を叶えながら自宅看取りした症例～	山本 健太郎

口述5

調査・研究

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	11:20～12:20	第4会場 301	O5-1	在宅で非がん疾患療養者を看取った家族が据えた訪問リハビリの支援	三浦 はるか
6月8日	11:20～12:20	第4会場 301	O5-2	がん患者の在宅での看取りにおける訪問リハビリテーションの実態と課題	田澤 達彦
6月8日	11:20～12:20	第4会場 301	O5-3	訪問リハビリテーション利用者の歩行形態における入院予測因子の検討	荒巻 吏志
6月8日	11:20～12:20	第4会場 301	O5-4	業務用SNS導入による情報共有の変化と結果	大崎 雅俊
6月8日	11:20～12:20	第4会場 301	O5-5	進行性疾患に対する訪問リハの介入効果～生活空間の広がり観から～	高田 裕斗
6月8日	11:20～12:20	第4会場 301	O5-6	回復期リハ病棟から訪問リハへスムーズに移行するための意識調査	小野塚 涼太

口述6

連携・ネットワーク、人材育成・教育、その他

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	13:30～14:30	第4会場 301	O6-1	連携で広げる訪問リハビリの可能性—多角的取り組みによる患者数増加の成果—	安田 栄太
6月8日	13:30～14:30	第4会場 301	O6-2	当法人のサービス付き高齢者住宅における多職種連携強化に向けた新たな取り組みについて	森本 一二三
6月8日	13:30～14:30	第4会場 301	O6-3	リハビリテーション会議を活用した多職種協働による効果～母としての役割の再獲得と参加の促進～	高野 佳織
6月8日	13:30～14:30	第4会場 301	O6-4	豊田総合療法士育成センターのカリキュラムの見直しと今後のフォローアップ研修について	庄村 賢二
6月8日	13:30～14:30	第4会場 301	O6-5	震災後の環境変化と通所サービス利用困難にてQOLが低下した症例への支援 -訪問リハビリ回数を増やした試み-	中村 秀哉
6月8日	13:30～14:30	第4会場 301	O6-6	当院の回復期から訪問リハビリへ移行した利用者の臨床同行に関するアンケート調査	中元 貴士

ポスター1

運動器, 内部障害

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P01-1	腰椎圧迫骨折を受傷した施設入所者に対する訪問リハビリテーションでの関わり	生野 正芳
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P01-2	リハビリの必要性を感じていない症例が、人間作業モデルの活用により介入の継続が可能となった一例	中尾 亮介
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P01-3	リウマチ疾患の利用者に、早期から訪問リハビリテーションが介入したことによりADLが拡大した症例	小島 貴大
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P01-4	人工膝関節全置換術後に訪問リハを利用し入浴動作と屋外歩行が自立した2事例	上木 祐介

ポスター2

地域づくり・地域貢献・地域創成, 人材育成・教育

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P02-1	地域での事例検討会（DESIELIデシイリ制度）から抽出した訪問リハにおける若手療法士の悩みと必要な教育	村瀬 文康
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P02-2	療法士参画による新しい地域リハビリテーションサービスの創設：モデル事業制度設計から事業委託プロセス	森下 洋平
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P02-3	個別地域ケア会議におけるリハ職の役割と期待 ～ICFの視点をういた分析～	松原 徹
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P02-4	能登半島地震被災地域の応急仮設住宅に住む高齢者の介護予防に必要な支援	東馬場 要

ポスター3

内部障害, 脳血管

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P03-1	呼吸リハビリテーションの必要性に気付いた！～スモールステップを重ねコーヒーを飲みに行けた症例～	清水 友絵
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P03-2	COPDステージ3の肺年齢95歳の利用者がセルフコントロール力を高め、安定して外出可能になった症例。	和氣 竜之介
6月7日	14:20~15:20	ポスター会場	P03-3	前庭リハビリテーションの実践 ～原因不明のめまいを有する訪問リハビリ利用者に対して介入した一症例～	菊池 隆志

ポスター4

評価・効果判定, その他

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P04-1	目標の具体化と動機づけによって、主体的活動に至った一例	原口 正美
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P04-2	通所リハビリへの移行が円滑に行えた事例	佐藤 千枝
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P04-3	目標整理の支援を行い活動内容を増大することができた事例	太田 菜摘
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P04-4	性格特性を考慮した目標設定による機能向上の可能性～そのひとりしさを支える～	橋本 喜子

ポスター5

その他, 脳血管

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P05-1	自助具の作成が自動車への移乗の自立ひいては活動範囲の拡大につながった症例	澤田 麻美
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P05-2	脊髄梗塞患者に対する自立度向上のための自助具の提供 3Dプリンターの活用が有効となった事例	楠木 邦弘
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P05-3	在宅看取り目的から外出への取り組みを検討することができた一症例	野中 一成

ポスター6

評価・効果判定, 調査・研究

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P06-1	回復期病院退院後、シームレスな訪問リハビリテーションの介入は、FIMの変化に差を生じさせるか?	清水 学
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P06-2	訪問リハビリテーションの効果にサルコペニアが及ぼす影響	岩瀬 拓
6月7日	15:30~16:30	ポスター会場	P06-3	FIMの推移による訪問リハビリの効果検証 -回復期病棟退院から3カ月間におけるFIM分析-	松田 貴幸

ポスター7

脳血管 I

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P07-1	退院後に転倒を繰り返し在宅生活が困難となるも訪問リハビリテーションで元の生活範囲を取り戻した症例	斉田 直人
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P07-2	メモ帳を活用した認知行動療法を行うことで、再発に対する恐怖感が低減し職場復帰に繋がった一例	大西 功一郎
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P07-3	「すっごく楽しかった!また行きたい!」~失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の活用例~	角田 直美

ポスター8

脳血管 II

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P08-1	同法人内のサービスにつなぐ強みを生かした訪問リハの展開が可能だった症例について	佐々木 和宏
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P08-2	訪問リハビリテーション介入して意欲の向上がみられた症例	篠原 良平
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P08-3	目標設定を明確にし訪問リハビリを計画的に終了できた症例を経験して	藤本 龍二

ポスター9

脳血管 III

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P09-1	他職種と支援方針の統一を図り、外出へ繋がった症例	長谷川 あさひ
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P09-2	退院直後の環境適応支援における短期集中型訪問リハビリテーションの役割 ~QOL向上に寄与した症例報告 ~	村岡 聖世
6月7日	16:40~17:40	ポスター会場	P09-3	発症から2年経過した慢性期脳梗塞患者に訪問リハビリテーションが有効だった症例	上山 淳

ポスター 10

小児関連

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P10-1	特別支援学校に通学する児への訪問作業療法	河面 夏泉
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P10-2	環状21番染色体児を担当して	玉那覇 三智子
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P10-3	ヒルシユスプルング病の排便障害が与える心理的影響～便失禁対策を検討した学齢期の一事例～	萩原 萌

ポスター 11

調査・研究

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P11-1	定期評価導入による利用者・セラピストへのアンケート調査報告～共起ネットワークを用いた分析～	吉田 嘉樹
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P11-2	定期的な身体機能・活動関連評価の導入による実践報告～実施率と非実施理由に着目して～	菊地 純弥
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P11-3	回復期リハビリテーション病院退院後の転倒の発生状況とセラピストの認識調査	高橋 雄太
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P11-4	利用者の口腔環境を守りたい！～口腔環境への関心向上を目指す訪問STの役割～	佐賀 友美

ポスター 12

調査・研究Ⅱ

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P12-1	訪問リハの終了に関する一考察	三村 健
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P12-2	当院訪問リハビリ利用者の介入期間と転帰について 整形外科疾患に着目	大友 将男
6月8日	10:10～11:10	ポスター会場	P12-3	訪問リハビリテーション利用者の筋質と介護度との関連	内田 淳也

ポスター 13

活動報告・運営システム

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P13-1	入院から法人内在宅サービスへの移行システム構築について	長江 郁弥
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P13-2	当院における不登校児童に対する在宅訪問リハビリテーションについて	後藤 詩織
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P13-3	続報 まこくり訪問リハの「攻めるは、豊平区」— 経営効率向上を目指した新たな戦略に向かって —	志村 将

ポスター 14

連携・ネットワーク、活動報告・運営システム、その他

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P14-1	腰椎変性すべり症術後両下肢不全麻痺のためサービス付き高齢者向け住宅に入居も退居して自宅に復帰した一例	好田 勇人
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P14-2	装具受診が困難な在宅利用者に対する遠隔支援の試み ～装具の修正により移動能力が向上した一症例～	西山 穂乃佳
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P14-3	脳出血による寝たきり状態から、多職種連携により、息子の結婚式に参列できた一事例	渡邊 竜也
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P14-4	訪問の義肢装具士の活動報告 ～訪問リハビリテーション専門職との連携～	鈴木 啓太

ポスター 15

高次脳・認知・精神障害、摂食嚥下障害

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P15-1	精神疾患を有するクライアントの活動再獲得に向けら訪問リハビリテーションの実践	横戸 祐也
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P15-2	HADSを通し精神状態をポジティブな感情も含めて多面的に評価出来た事例	下村 聡
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P15-3	せん妄の改善を優先した介入により在宅生活が安定した一症例	岡田 晴賀
6月8日	11:20～12:20	ポスター会場	P15-4	嚥下障害の克服とともにADLが自立し、施設から自宅復帰できた症例	楠本 一史

ポスター 16

難病・終末期、調査・研究

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	13:30～14:30	ポスター会場	P16-1	終末期に対する訪問作業療法	浅野 友佳子
6月8日	13:30～14:30	ポスター会場	P16-2	緩和ケア病棟のエントリー後、在宅生活の質の向上を目指した1症例	熊野 由美子
6月8日	13:30～14:30	ポスター会場	P16-3	終末期がんの利用者を在宅看取りした家族が感じた、訪問リハビリテーションについてのインタビュー調査	音川 史矢

ポスター 17

難病・終末期Ⅱ、摂食嚥下障害

発表日	発表時間	場所	発表番号	演題名	発表者
6月8日	13:30～14:30	ポスター会場	P17-1	多系統萎縮症が進行した利用者の在宅生活維持に向けた妻と本人への支援	木之内 智裕
6月8日	13:30～14:30	ポスター会場	P17-2	老老介護での在宅生活継続と外出のため離床に取り組んだ事例ー訪問介護との連携	小林 幸治
6月8日	13:30～14:30	ポスター会場	P17-3	数回の入院を繰り返し活動意欲が低下した利用者に対する訪問リハビリテーションの支援方法を検討した事例	深谷 芽里
6月8日	13:30～14:30	ポスター会場	P17-4	若年がん終末期患者に対する訪問療法士介入の効果～生活機能維持とQOL向上の支援～	西尾 玲子